

(様式2)

指定管理者制度導入施設の管理運営状況【対象年度:令和6年度】

※1～6:所管課記入、7:指定管理者記入、8～9:指定管理者及び所管課記入、10:指定管理者及び所管課記入(実施した場合)

所管部・課	環境部 自然保護課
指定管理者	一般社団法人 木曾おんたけ観光局

1 施設名等

施設名	長野県立御嶽山ビジターセンター	住所 電話 ホームページ	長野県木曾郡王滝村田の原3162 0264-24-0505 https://ontake-vc.jp/yama/
-----	-----------------	--------------------	---

2 施設の概要

設置年月	令和4年8月	根拠条例等	長野県自然公園施設条例、長野県自然公園施設管理規則
設置目的	自然公園法(昭和32年法律第161号)第2条第1号に規定する自然公園の保護及び適切な利用を推進し、並びに自然体験活動の機会を提供する。		
施設内容	・展示室 ・飲食休憩スペース ・トイレ ・事務室		
利用料金	なし		
開所日	令和6年4月27日から令和6年11月4日まで		
開所時間	午前9時から午後4時まで		

3 現指定管理者前の管理運営状況

期 間	管 理 形 態	管理受託者又は指定管理者等
令和4年度施設新設	—	—

4 報告年度の指定管理者等

指定管理者	一般社団法人 木曾おんたけ観光局	指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年間)
選定方法	公募(応募者数:1)		

5 指定管理料(決算ベース)

令和6年度(A)	令和5年度(B)	差(A)-(B)	※(A):当該年度、(B):前年度(以下同じ)
9,923 千円	9,923 千円	0 千円	
	増減理由	—	

6 指定管理者が行う業務

・館内展示による自然公園の魅力や自然情報の発信 ・公園内の情報提供(危険箇所の注意喚起や利用者へのマナー指導) ・公園内の歩道整備やゴミ拾い等の公園管理 ・登山者への情報提供 ・ガイドウォーク、自然観察会等の行事の開催

7 利用実績等

(1) 利用実績【指標:利用者数・利用件数・稼働率】

(単位:人、件、%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和6年度(A)	146	925	630	1,922	2,864	2,490	1,810	169	0	0	0	0	10,956
令和5年度(B)	11	807	701	2,171	2,610	2,025	1,391	249	0	0	0	0	9,965
(A)/(B)	1327.3	114.6	89.9	88.5	109.7	123.0	130.1	67.9	—	—	—	—	109.9
増減要因等	—												

(2) 利用料金収入

(単位:千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和 年度(A)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和 年度(B)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(A)/(B)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
増減要因等	※当施設は利用料金を定めていない												

(3) 利用料金見直しの状況(前年度と比べて)

見直しの有無	見直した場合はその内容
無	—

(様式2)

(4)開所日・時間の見直し等の状況(前年度と比べて)

開所日数	開所時間	見直しの有無	見直した場合はその内容
令和6年度(A):192日 令和5年度(B):160日	令和6年度(A): 9:00～16:00 令和5年度(B): 7:00～16:00	有	令和5年度までは、御嶽山保安監視員が田の原で7時から勤務する際、協力して登山者への登山届提出等の啓発を行っていた。

(5)サービス向上のため実施した内容

・施設内の清掃を毎日実施するとともに、施設利用者に対し展示物の案内を実施した。 ・施設利用者に対しアンケートを実施し、木曽地域振興局と共有することで、利用者の意見を施設管理に反映できるよう努めた。 ・施設案内の質を向上させるため、木曽おんたけガイドの会と共同で、ガイド講習会を実施した。

(6)その他実施した取組内容

・御嶽山ビジターセンターのホームページを通して日々情報を発信した。 ・自主事業として、田の原天然公園内のガイドウォーク、バードウォッチングを行ったほか、館内で「御嶽山のライチョウ写真展」を開催した。 ・地元テレビ番組や名古屋市のイベント等で広報活動を実施した。
--

(7)利用者の主な声及びその対応状況

・施設利用者に対するアンケートの意見をもとに、快適に施設を利用できるよう努めた。 ・木曽ヒノキ製の備品をもっとアピールしてはどうかという意見があった。木曽地域振興局と相談しながらより魅力の伝わる施設を目指す。 ・施設やトイレの清潔さに関する肯定的な意見を引き続きいただいた。今後も清潔な施設の維持に努める。

8 管理運営状況(実施状況及びそれに対する評価を記入)

※項目は施設の状況に応じ加除修正してください。

項目	指 定 管 理 者	所 管 課	評価
施設の目的に沿った管理運営	施設及び設備の維持管理に関しては、展示やHPの随時更新に努め支障なく管理運営ができた。	下記自主事業に伴う展示物の更新や、HP、SNSを用いた情報発信により、施設の目的である自然公園の魅力や自然情報の発信等に積極的に取り組んでいる。	B
平等な利用の確保	車椅子のお客様が来館されても通行の妨げにならないよう展示物等を配置・解説を行い又、足の悪い方やお年寄りの為に車椅子を常備し、すべてのお客様に対して平等になるよう努めている。	施設内は丁寧に清掃され、展示物の配置等もバリアフリーとなるよう考慮されており、良好な環境が整えられている。	B
利用者サービス向上の取組	施設利用者へアンケートを実施し、回答内容を考慮し施設の管理運営及び展示物に配慮した。	施設利用者のアンケート結果では、施設案内や施設の清潔さに対する高評価が維持されており、利用者目線での施設運営に努められている。	B
自主事業	田の原天然公園の散策ツアーを6月から9月まで12回実施し、参加者は22人だった。昨年と比較すれば参加人数は増えているが、今後もより多くの方に参加していただけるよう内容・広報等の実施方法を検討したい。 また、「御嶽山のライチョウ写真展」を9月から閉館まで開催した。	昨年度に比べ、散策ツアーの開催は10回増え、参加者も19人増加しているなど、限られた人員体制の中でも積極的に事業実施に取り組まれている。	A
職員・管理体制	基本的に観光局の就業規則に準じた業務にあたり、御嶽山ビジターセンターの開館日・閉館日を守り運営できた。	適切に職員配置を行うことにより、開館日・開館時間を守った施設運営が維持されているほか、閉館中の施設管理(展示物の保護等)その他業務を行うことができている。	B
収支状況	前年度に比べ冬期間に寒波・降雪が多く、館内設置のパネルヒーターの稼働率が上がり電気代が多くなったが、指定管理料の範囲内で運営することができた。	指定管理料の中で適切に施設管理が行われている。	B
総合評価	2月の豪雨の影響により、館内及びトイレに浸水による被害があり一部の展示が7月まで見られない状況だったが、開館日も遅れることなく閉館日を満期で迎えられ概ねスムーズな対応ができた。今後とも来館者の方に満足していただけるよう、施設の維持管理及び事業の充実・拡大に努めたい。	通常の管理運営に加え、不測のトラブルが起きた際にも迅速な対応をいただいたほか、自主事業も積極的に実施いただいた。翌年度も施設の目的を効果的に果たせるよう、適切な管理運営をお願いする。	B

<評価区分> A:仕様書等の内容を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
B:おおむね仕様書等の内容どおりの成果があり、適正な管理運営が行われている。
C:仕様書等の内容を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要である。
D:仕様書等の内容に対し、重大な不適切な事項が認められ改善を要する。

(様式2)

9 施設管理運営の課題

項 目	指 定 管 理 者	所 管 課
施設の管理運営の課題	来館者を増やすイベントを多く企画し、開催していきたいが、管理側の人員不足のため、イベント時に来館者が多いときは館内対応との両立が難しい。今後は人員、やり方、イベント内容の検討が必要。	自主企画については、引き続き通常業務との最適なバランスを探っていく必要がある。 その他、来館者からの意見に基づいた運営提案をいただくなど、よりよい施設運営に努められることを期待する。

10 第三者評価で指摘された事項の管理運営等への反映状況(第三者評価実施年度の翌年度以降に記載)

【実施年月日:令和6年10月22日】

第三者評価における指摘・意見等	管理運営等への反映状況	
	指定管理者	所管課
利用者満足度調査の数字データを公表し、閲覧者自身で評価ができる仕組みを構築することが望ましい。	意見を参考に、調査データの公表方法について検討する。	調査データの公表方法については、引き続き検討している。
利用者満足度調査で希望があったことについて、回答を公表すると利用者の声が届いていることがわかるので、満足度向上につながるのでは。	意見を参考に、要望に対する回答方法について検討する。	要望への回答やその公表については、引き続き検討している。
トイレの協力金を徴収できないか。きれいなトイレなので維持してほしい。	協力金については、徴収方法や会計処理方法について県や王滝村との調整を検討する。利用者に気持ちよく使っていただけるよう、環境の維持に努める。	協力金は現時点で徴収する予定はない。今後も関係部局と調整の上、必要性等について検討する。
山のツアーをしていると、開館時間を早めてほしいという声を聞くことがある。	開館時間については、職員体制の確保の観点から早めることは難しい。 なお、トイレの使用や御嶽山の噴火警戒レベル等の情報提供は24時間行っている。	開館時間を早めることは職員体制上困難だが、閉館時でも登山者に必要な情報が用意に入手できるよう、デジタルサイネージの活用、トイレ等に気象庁火山情報ページのQRコードを設置する等、情報提供の充実に努める。
自主事業について、もっと積極的に取り組んで収入を得られるようにしてもよいのではないか。	限られた人数の職員体制の中で、来館者の安全確保に努めつつ、楽しんでいただける企画を検討していく。	指定管理者や関係機関と情報共有を行いながら、来館者の満足度を高められるよう引き続き努める。
自主事業の参加者が少ないので、あえて取組む必要はなく、むしろ来館者に気持ちよく過ごしてもらえよう専念する方がよいのではないか。		